

著者略歴

長谷部 忠司(はせべ ただし)

現在：神戸大学大学院工学研究科准教授。

1991年：京都大学助手として塑性工学・塑性加工に従事。1993年：博士号を取得。博士(工学)。1993年：同志社大学専任講師として衝撃工学および衝撃塑性加工の研究を推進。神戸大学助教授および准教授を経て現在に至る。

また、アメリカの主要大学(MIT, UCLA, ハーバード大学)で客員教授として勤務。MITでは結晶塑性のメカニズム、転位パターン形成、動的回復、塑性流動の不安定性と局所化に関する四つのシンポジウムを開催。UCLAでは、マルチスケール固体力学の講義を担当。最新著“Field Theory of Multiscale Plasticity”(Cambridge University Press, 2024)は、マルチスケール塑性論の基盤的な理論を体系化したもの。

専門は、弾塑性力学・結晶塑性論・材料強度学・塑性加工。

2025年10月10日 第1版発行

検印省略

著者 長谷部 忠司

発行者 内田 学

印刷者 山岡 影光

マルチスケール塑性場の理論入門

FTMPでひもとく現代塑性論

発行所 株式会社 内田老鶴堂 〒112-0012 東京都文京区大塚3丁目34番3号

電話 (03)3945-6781(代)・FAX (03)3945-6782

<https://www.rokakuho.co.jp/>

印刷・製本/三美印刷 K.K.

Published by UCHIDA ROKAKUHO PUBLISHING CO., LTD.

3-34-3 Otsuka, Bunkyo-ku, Tokyo, Japan

U. R. No. 690-1

ISBN 978-4-7536-5507-6 C3042

©2025 長谷部 忠司